

大阪市の文化施策・主な文化事業(概要)

令和元年5月7日
大阪市

第2次大阪市文化振興計画の概要

計画期間：平成28年度～32年度

(なお、社会経済情勢の変化等に伴い、適宜見直しをする予定)

「文化自由都市、大阪」

めざす将来像

理念

「大阪が誇る文化力を活用した魅力あふれる都市」

「あらゆる人々が文化を通じていきいきと活動できる都市」

施策の方向

「あらゆる人々が文化を享受できる都市」

B「都市のための文化」

①大阪が誇る上方伝統芸能を活用した魅力発信

②芸術文化の魅力を、観光資源及び経済の活性化に活用

③都市全体を活用した芸術文化活動の展開

C「社会のための文化」

①教育、福祉、まちづくり等あらゆる施策分野への活用

②地域の特色ある芸術文化活動への取組み・支援

作用

作用

循環

多様な芸術文化活動
(産学等との連携)

循環

作用

A「文化創造の基盤づくり」

①芸術文化を創造する人材、支える人材の育成・支援の充実

②芸術文化を将来へ継承発展させる青少年の育成

③芸術家等が活動に取り組みやすい環境の整備

④貴重な文化資源の保護・保存・継承

⑤芸術文化活動を支える寄附文化の醸成

推進に向けて

重点的に取り組む事項

- 大阪の芸術文化を発展させる人材の育成
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組み
- 評価・推進体制の強化(アーツカウンシル)

大阪市の役割

- 文化施策を通じて、市民・アーティスト等の自主的な芸術文化活動が活発に行われるようサポートする
- 芸術文化の創造・活動基盤の整備、都市魅力の向上、市民等への情報発信

大阪市 令和元年度 主な文化事業（概要）

A「文化創造の基盤づくり」

○芸術活動振興事業助成金 令和元年度予算 63,000千円

文化の向上と文化的創造に寄与すると認められる芸術活動の経費の一部を助成することにより、芸術活動の水準向上と発展を図る

種類	一般助成	特別助成		
		大阪文化力向上支援	上方古典芸能普及発展支援	多様な人々が参加できる芸術活動支援
助成上限金額	20万円	400万円		
対象経費	会場費・舞台費・上映費、印刷費	会場費・舞台費・上映費、印刷費、出演・音楽・文芸費、作品借料、謝金・宣伝費・記録費		
実施場所	大阪市内	大阪市内	大阪市内、大阪府外、海外	大阪市内
対象活動	1公演 2作品等の展示 3総合芸術祭 4映画祭 5ワークショップ	1公演 2作品等の展示 3総合芸術祭 4映画祭 5ワークショップ 6シンポジウム 7アーカイブ制作		
対象活動内容	大阪市内で開催する芸術活動で、市民等への芸術に触れる機会提供を目的として行うもの。	大阪市内で開催する芸術活動で、大阪の魅力を活かした芸術文化の創造につながると期待でき、また、主催する芸術団体・個人の大阪での活動の活性化につながることが期待できるもの。	大阪発祥または大阪で発展してきた古典芸能について、市民はもとより広く内外に周知することで、これらの芸能の発展と大阪の文化の発信に資することが期待できるもの。	大阪市内で開催する芸術活動で、障がい者、外国人など多様な人々が参加できる工夫や配慮等があり、芸術活動を通じて多様な人々の社会参加の機会を開くことにつながると期待できるもの
関連施策			施策の方向性B「都市のための文化」	施策の方向性C「社会のための文化」

（事業実績など）

- ・平成30年度実績 特別助成：申請件数38件 採択件数23件 一般助成：申請件数157件 採択件数：125件
- ・令和元年度実績 特別助成：申請件数45件 採択件数28件 一般助成（上期）：申請件数64件 採択件数54件

特別助成の「多様な人々が参加できる芸術活動支援」については、平成30年度に新設し、平成30年度は申請6件、採択3件、令和元年度申請7件、採択5件。内容も多岐に及んでいる。

大阪市 令和元年度 主な文化事業（概要）

A「文化創造の基盤づくり」

○区と連携した芸術文化青少年育成事業 令和元年度予算 25,500千円

〔事業概要〕

芸術文化に関する青少年育成の取組みが、各区において中長期的に定着することを目的とし、各区の特性に応じた事業を実施
 H29年度実施8区⇒H30年度実施17区⇒R元年度実施17区（予定）

（H30年度事業実績）

北区	能楽	伝統芸能を体験してみよう“能・狂言”
此花区	美術	此花区の絵画製作を通じた芸術文化青少年育成事業
港区	美術	海・川・港町・わがまち港区 I LOVEアートプロジェクト
浪速区	ダンス	728（なにわ）DANCERS事業
東成区	落語	東成区芸術文化事業（上方落語）
住之江区	音楽（吹奏楽）	すみのえミュージックフェスティバル！
住吉区	音楽（吹奏楽）	<吹奏楽のまち「住吉」>プロジェクト～区内中学校吹奏楽部の指導～
東住吉区	華道	花とあそぼう！（東住吉区いけばな青少年育成事業）
都島区	音楽（吹奏楽）	まちを育む～中学校吹奏楽・合唱力向上事業
福島区	音楽（吹奏楽）	吹奏楽を通じた音楽文化普及事業
西淀川区	美術	きらり☆青少年夢応援事業～「ドラム缶」アートプロジェクト
生野区	美術（工芸）	芸術性の高いものづくり文化を通じた青少年育成事業
旭区	ダンス	小学生のダンス体験
城東区	音楽（吹奏楽）	城東区内市立中学校吹奏楽部に対する技術指導業務～一流の楽団とふれあいを通じた青少年育成事業～
阿倍野区	音楽	プロフェッショナルに出会う！音楽体験事業
平野区	美術（工芸）	平野区伝統工芸プロジェクト（布のワークショップ）
西成区	音楽	大阪フィルハーモニー交響楽団員による演奏を通じたワークショップ



大阪市 令和元年度 主な文化事業（概要）

A「文化創造の基盤づくり」

○文楽を中心とした古典芸能振興事業 令和元年度予算 35,000千円

〔事業概要〕

大阪の誇る文楽を中心とした上方の古典芸能について、専用劇場での公演とは異なる仕立てでの公演を実施するなど、気軽に古典芸能に触れる機会を市民に提供

（事業実績など）

- ・文楽公演「中之島文楽」（H30.10.5～10.7大阪市中央公会堂）約1,200人
- ・大阪くらしの今昔館や市内ホテルでのミニ公演 約2,800人
- ・文楽に関するフリーペーパー「ハロー！文楽」での情報発信 10,000部
- ・WEBアクセス者数：約41,000人
- ・来場者へのアンケート結果：「次は文楽劇場で文楽を鑑賞したい」と回答した人数約95%



▲中之島文楽



▲フリーペーパー（ハロー！文楽）

B「都市のための文化」

○伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進事業 令和元年度予算 8,990千円

〔事業概要〕

海外からの来阪ビジター等を対象とした伝統芸能のモデル公演や有識者会議における事業内容の検証などにより、新たな大阪の魅力を創出するための取組みを行う

（事業実績など）

ビジター向けモデル公演の実施（3回）

- ・H30年10月27日「はじめての文楽人形と女義太夫の世界」 文楽人形、女義太夫 人形遣い体験や肩衣や袴の試着体験など
- ・H31年2月4日「上方落語の魅力 はじめての“ハメモノ”の世界」 上方落語、女道楽、お囃子解説、太鼓・鐘の体験など
- ・H31年2月12日「音と美しい装束で楽しむはじめての能楽の世界」 能楽、能にまつわるお話や道具の解説、体験コーナーなど

※英語の同時通訳や字幕スーパーの表示なども実施

大阪市 令和元年度 主な文化事業（概要）

B「都市のための文化」

○大阪クラシック 令和元年度予算 32,850千円

〔事業概要〕

御堂筋・中之島エリアを中心に無料または低料金のクラシックコンサートを開催

（事業実績など）

- ・開催期間：H30.9.9～9.15（第13回）
- ・主な会場：大阪市中央公会堂・フェスティバルホール・御堂筋や中之島地区のオフィスビルのロビー 等
- ・出演楽団：大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団
Osaka Shion Wind Orchestra
- ・公演数：81公演 ・来場者数（合計）：約42,000人



▲大阪クラシック ©飯島隆

C「社会のための文化」

○現代芸術振興事業（ブレイカープロジェクト）令和元年度予算 6,000千円

〔事業概要〕

現代芸術家の育成のため、作品制作・発表機会を提供するとともに、地域に根ざした創造活動拠点の発展をめざす。
（西成区山王地区を拠点に実施）

（事業実績など）

- ・地域の活動拠点「新・福寿草」を活用した作品制作・発表
- ・旧今宮小学校「作業場」に残る陶芸窯や畑を活用した制作活動
- ・「西成・子どもオーケストラ」の活動



▲ブレイカープロジェクト「西成・子どもオーケストラ」